

# 週刊大貫のり夫

## 市政ファイルNo.467

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2015年1月21日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



### 子どもの医療費無料化、年齢引き上げを

小児医療費助成制度拡充の請願、自公民等の反対で不採択に

小児医療費助成制度(通院)は、子どもが医療機関を受診する際に区市町村が医療費の自己負担分を助成する制度です。全国的には東京23区で中学校卒業まで無料なのが知られていますが、県内でも厚木、海老名など3市、中井、松田など6町村で中学校卒業まで無料

です。横浜市は小学校1年生までで、県内では最低レベルです(3面参照)。

日本共産党横浜市議団は、小児医療費助成制度の対象年齢引き上げと所得制限の撤廃を、一貫して求め続けてきました。

昨年12月議会では、子どもの医療費助成を中学校3年生まで引き上げ、所得制限をなくすよう求める請願が、121団体と7,669人から提出されました。この請願は、自民・公明・民主・結ぶ会などの反対で、請願は不採択となりました。

(2面に続く)



弁護士による 無料法律相談 2月5日19日 予約制 090-5311-1879 大貫まで

# 子ども医療費無料化は市民の切実な要望

(1面より)

公明・民主・未来を結ぶ会(維新の党)の各会派は、小児医療費助成制度の拡充について昨年の決算特別委員会でも取り上げ、早期実現を求めています。しかし、昨年12月の常任委員会での審議では、請願内容のすべてを採択できなくても段階的な対象年齢引き上げなどを検討すべきという意見も出されましたが、公明・民主の議員の発言はなく、結ぶ会は「中学校3年生まで拡充するのは無理がある」と発言として、不採択を主張しま

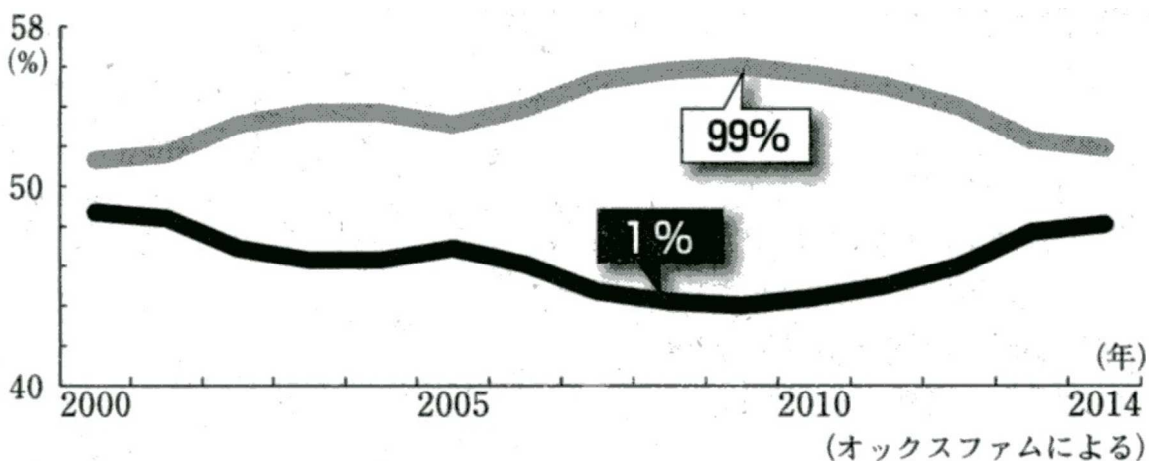
した。

日本共産党のあらき由美子議員は本会議で、「市の中期計画には小児医療費無料化のあり方について検討が必要という文言が入っており、市長はこの制度の意義や有益性は認めています。ところが、市長は財政上の理由から、こうした市民の切実な要望を実現しようとしません」と述べるとともに、公明・民主等が自民党と同じの態度をとったことを批判し、請願を採択するよう求めました。

世界人口の下位  
50%分の富

## 富裕層80人が保有

世界の1%の富裕層が保有する富と残りの99%が保有する富の割合



国際援助団体オックスファム・インターナショナルは19日、世界で80人の億万長者が保有する富はこの5年間で倍加し、2014年に貧しい50%の人たちの富の総計を上回ったと

指摘しました。この傾向が続けば、2016年には1%の富裕層が保有する富は残る99%の保有する富を上回ることとなります。まさに、トリクルダウン経済による格差の拡大です。

## 神奈川県各市町村の小児医療費助成制度(通院)

2014年10月現在、○は2015年度拡充予定

	就学前(歳)						小学校(年)						中学校(年)			
	0	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3
横浜市	■	■	■	■	■	■	■	■								
川崎市	■	■	■	■	■	■	■	■								
相模原市	■	■	■	■	■	■	■	■	■		○	○	○			
横須賀市	■	■	■	■	■	■	■	■	■		○	○	○			
平塚市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
鎌倉市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
藤沢市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
小田原市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
逗子市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
三浦市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
秦野市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
厚木市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大和市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
伊勢原市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
海老名市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
座間市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
南足柄市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
綾瀬市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
葉山町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
寒川町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
大磯町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
二宮町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
中井町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大井町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
松田町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
山北町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
開成町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
箱根町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
真鶴町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
湯河原町*	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
愛川町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○
清川村	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ 所得制限なしで無料    □ 所得制限ありで無料

\* 4歳以上は負担金あり(通院1回200円)。

# カジノ！横浜が有力候補地に？

1月3日の神奈川新聞は「全国の複数自治体がカジノ誘致に名乗りを上げる中、菅義偉官房長官は『首都圏で一つ（整備すべき）と思っている。横浜は有力な候補地だ』と言明した。安倍政権はIR（カジノを中心としたリゾート施設）を『成長戦略の目玉』に位置付けており、林文子市長や地元経済界も誘致に意欲を示している」との記事を掲載しました。

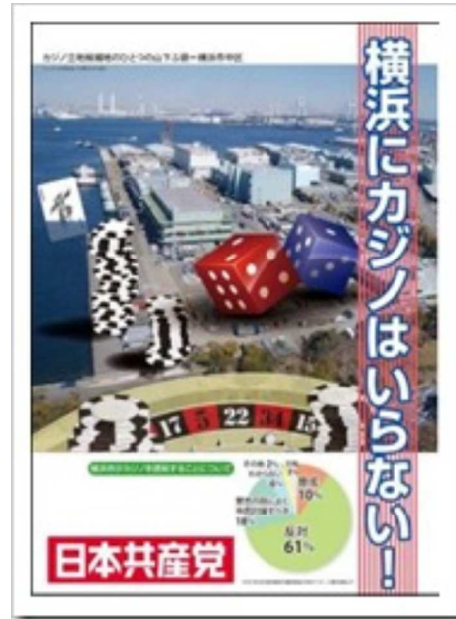
有力候補とみられていた東京都は、舛添知事が2020年の東京オリンピックの準備を優先させる構えをとり、東京でのカジノ構想に慎重になっています。

いよいよ横浜へのカジノ誘致の動きが活発化しそうです。IR整備推進法案（カジノ法案）は衆議院解散で廃案になったものの、今年の通常国会に再提出される見通しとのことです。

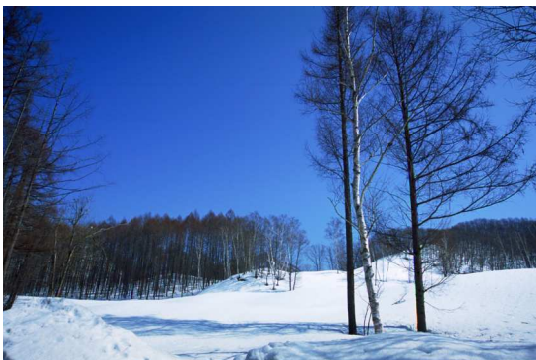
「横浜にカジノはいらない」の声をさらに大きくしましょう。

## インターネットTV JCPヨコハマチャンネル

昨年11月22日に、日本共産党市議団主催で開かれたシンポジウム「横浜にカジノはいらない！カジノ解禁と横浜誘致について考える」の様をお伝えしています。



JCPヨコハマチャンネルは、党市議団のホームページや私のブログでご覧できます。



ミジンコの独り言 日本の冬の風物詩でもある駅伝。11・18日と都道府県対抗駅伝が開かれ、神奈川県は女子が14位、男子が24位。男子では2県が無念にもたすきを繋げなかったが、チームのために汗を流してがんばる姿は順位に関係なく感動をよぶ。(M)

日本共産党は、カジノの合法化、横浜へのカジノ誘致に断固反対です